

千里山

コミセン

だより

80号

きらきらテープでマスクケース

1月27日（木）



橋本佳子さん

（デコラティブ・ペインティング・アーティスト）

橋本佳子さんによる2年ぶりの手芸講座です。クラフト用のネットにラメルヘンテープという光沢のあるテープを通してケースの本体を作ります。様々な色のテープの組み合わせ方で雰囲気の違った作品ができます。仕上がった作品はとっても洒落で高級感がありました。最後にチャームを取り付けて完成！アクセサリーとしてカバンなどにつけてもよいですね。

マスクが必須の時代だからケースは大事ですね



わあ〜ステキ！私も作りたいな

完成



仕上げにチャームを付けて出来上がり！



全部通したら端のテープの処理をします。（手芸用の鉗子や目打を使うと便利です。）

裏地を両端からしっかりと貼ります。

橋本先生の作品

上達してくるとバッグやポーチのような、凝った小物も作れるようになります。（^^）v



ソーシャルディスタンスをしっかりとってなごやかな雰囲気で行われました。



区画整理事業で

変貌した佐井寺



筆者の愛犬ルパン

佐井寺は、古くから寺院を中心とした信仰の村として、その歴史を刻んで来ました。しかし昭和30年代には日本で初めてとなる千里ニュータウンの開発、昭和45年（1970年）に開催された大阪万国博覧会などにより、佐井寺を取り巻く環境は大きく変化しました。

そして、昭和50年代になると、いよいよ土地区画整理事業が始まりました。五月が丘地区の佐井寺東に始まり、佐井寺南・北の事業が完成し、現在に至っています。周辺の竹林や田畑は減りましたが、広い道路が走り、公園も整備され、お洒落な飲食店や大型スーパーなども定着し、流入人口も増加する、魅力的な「まち」に発展しました。

これからは、最後に残された、佐井寺西土地区画整理事業も始まるようです。都市計画道路が交差する大阪学院大学千里山グラウンドの辺りの景色も一変するでしょう。筆者の家の近くの伊射奈岐神社では、春になるとウグイスが「ホーホケキョ」と見事な鳴き声を披露してくれます。周辺の開発によって生き物たちが住みづらくなるのが少し気がかりです。



佐井寺南が丘公園

＜一般市民役員募集＞

千里山コミュニティ協議会会員の中で、月1回の役員会に参加するなど協議会の運営をお手伝いいただける方。

募集人数： 若干名（応募者多数の場合は役員会で選任）  
資格： 会員3名の推薦があること  
任期： 令和4年度定時総会の日から2年間（再任可）  
報酬： なし  
締切： 令和4年3月15日（火） 必着  
問い合わせは事務局まで（06-6310-7002）



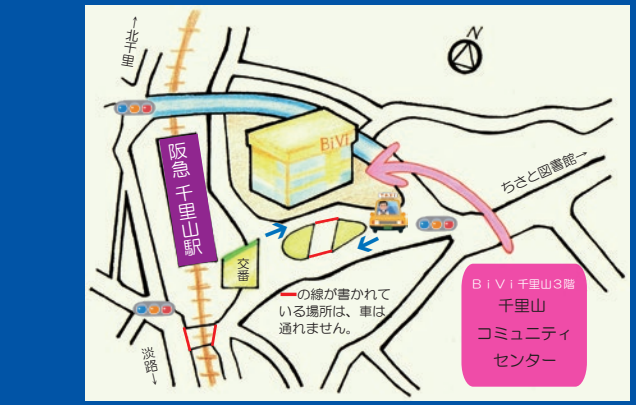
千里山コミュニティ協議会

新規・継続会員受付中！



新年度会員を募集しています。現会員様はお早めに継続の手続きをお願いします。（5月開催の定時総会の議決権は、4月30日までに会費納入された方に限ります。）

会費：1,200円（1年間）



編集後記〜コミュちゃんのつぶやき〜

きらきらテープでマスクケースの講座ではシンプルな素材から綺麗なマスクケースが出来ていく工程を見て感動しました。千里山の町がそんなキラキラな小物やバッグを持って歩いている人たちで溢れたら嬉しいです。（島）



千里山コミセンだよりの写真は、ご本人、団体の許可をいただいて掲載しています。

◎3月の休館日◎ 3月23日（水）

吹田市立千里山コミュニティセンター広報紙「千里山コミセンだより」第80号 令和4年3月1日発行  
編集・発行 千里山コミュニティ協議会 〒565-0844 吹田市千里山霧が丘22-1 BiVi千里山3階  
TEL 06-6310-7002 FAX 06-6310-7336 HP <http://sen-com.org>

